

「数学」 正 答 例

① (1) 6.09 (2) 350 (3) 16.8

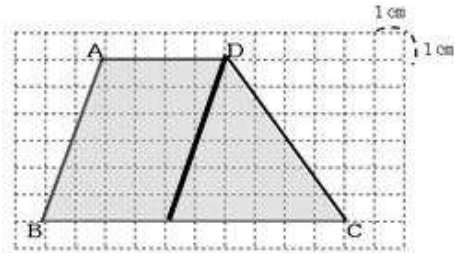
② (1) 2
 (2) コンパスを用いて、点イを中心として、半径アイと同じ長さの半径の円をかき、もとの円と交わる点を点ウとすればよい。
 (3) 点E (4) 4

③ (1) 辺キカ (2) 1, 2, 4, 5 【完答・順不同】

④ (答え) 正しいに○をする。
 (理由) 三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができる。三角形ABCと三角形ABDの底辺はともにABで長さが等しい。また、頂点Dを1とすると、三角形ABDの高さは8cmとなり、三角形ABCの高さBCと等しい。底辺と高さがそれぞれ等しいので、2つの三角形の面積は等しい。

⑤ (1) 36(km) (2) 500(L) (3) ① 4 ② $60 \div 0.4$

⑥ (1) ① (ア) 三角形ABC (イ) 三角形ACD 【完答】
 ② 平行四辺形ABEFは、底辺が $(10 + 4)$ cm、高さが6cmなので、面積は $(10 + 4) \times 6 = 84$ 84 cm^2 になります。
 最後に、台形ABCDの面積は、平行四辺形ABEFの面積の半分になるので、 $84 \div 2 = 42$
 (2) 台形にあった線をかき入れる。



⑦ (1) 2, 4 【完答・順不同】
 (2) ① 自給率は消費量をもとにしたときの生産量の割合を表している。
 1980年の自給率は80%で100%より小さいので、生産量は消費量より少なくなる。
 ② 320(万t)
 (3) (答え) 正しくないに○をする。
 (理由) 自給率は消費量をもとにしたときの生産量の割合を表している。したがって、1975年と1985年では、自給率が同じでも消費量が異なっているので、生産量は同じにならない。